

白岡市立図書館資料収集方針

平成10年3月31日教育長決裁

平成30年9月1日改正

1 目的

図書館は、生涯にわたる自主学習の場として、また地域文化の発展に寄与する重要な施設である。

そのため白岡市立図書館は、市民の趣味、教養、娯楽、調査、研究等の多様な学習要求に応えるため、多種多様な資料を収集・整備し、利用者が迅速、公平にサービスが受けられるよう努めていくものとする。

ここに、図書館サービスの基本である資料の収集が、適正かつ公平であるよう収集にあたっての基本的な方針を定める。

2 基本方針

(1) 資料の選定及び収集にあたっては、『図書館の自由に関する宣言』に基づき、公正かつ自由に広い視野をもって資料を収集する。

ア 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

イ 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

ウ 図書館員の個人的な関心や好みによって選択をしない。

エ 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりしない。

オ 寄贈資料の受入れにあたっても同様である。

(2) 資料の収集は、利用者の要求や社会の動向に基づいて、利用者の社会生活に役立つ資料を収集する。

(3) 将来的に要求が予想される資料は、積極的に収集する。

(4) 特定の主題、主義、主張等に偏ることをさけ、さまざまな角度から計画的に収集し、資料の中立性を堅持する。

- (5) 各分野の基本図書の充実を図るとともに、レファレンスサービスにも対応できるよう、主題分野ごとに系統的な基本的参考図書の充実に努める。

ア 事典（百科事典、主題別事典）

イ 辞典（用語辞典、各種辞典）

ウ 便覧（ハンドブック）

エ 年鑑

オ 年表

カ 図鑑

キ 人名録

ク 地図帳

ケ 主要政府刊行物（官報、白書等）

コ 法令書

サ 書誌、索引、解題等

シ その他

- (6) 白岡市及び埼玉県に関する郷土資料、行政資料は、網羅的に収集する。

- (7) これからの時代を担う乳幼児、児童、生徒の健全な育成のために必要な資料を積極的に収集する。

- (8) 視聴覚障害者の利用にも配慮し、点字資料、録音資料、大活字本、布の絵本等をできる限り収集する。

3 具体的方針

- (1) 利用度の高い資料、保存上必要と考えられる資料は、必要な範囲で複本をそろえる。

ただし、一時的話題性が強い資料は、将来を考慮して、収集段階で調整する。

- (2) 限定された層よりは、より多くの人に利用される資料を収集する

- (3) 次にあげる資料は、内容、予算、利用の実情等を十分に検討して収集する。

- ア 高度な専門書
 - イ 高価本
 - ウ 特殊な主題の資料
- (4) 次の資料は、原則として、収集の対象から除外する。
- ア 学習用の問題集
 - イ 人権またはプライバシーを侵害する資料
 - ウ 漢籍、和装本、古文書、古記録類（ただし、参考図書、郷土資料及び寄贈は除く）
 - エ わいせつな出版物として判決が確定したもの。
- (5) 白岡市にゆかりのある作家の作品及び白岡市を舞台にした作品については、可能な限り収集する。
- (6) 前記各項の原則に留意しつつ、リクエストがあった図書については、優先的に購入する。ただし、収書範囲を越える内容の図書、または次の利用が見込めないものなど、購入提供が不可能な場合は、相互協力、関係機関・施設の紹介等を利用して、できるだけ利用者の要求に応えるよう努める。

4 資料別収集方針

一般的で利用が多いと思われる図書を包括的、重点的に収集する。

(1) 一般書

- ア 各分野の図書を一般的なものから専門的なものまで幅広く収集する。
- イ 小説、戯曲、随筆、詩歌集などの文学作品
- ウ 生活実用書
- エ 趣味、娯楽、レクリエーションの図書
- オ 職業的実務に役立つ本
- カ 生活設計に役立つ図書
- キ 伝記、旅行記
- ク 時事的なテーマを扱った図書、ベストセラー、各種文芸賞受賞作品

ケ コンピュータ、医療、工学関係は、内容の変化が速いので、最新のものを揃える。

コ 叢書、全集など継続購入が望ましいものは、特に部分的に揃えるものを除き、系統的、体系的に購入する。

(2) 児童書

学校図書館との連携を考慮して、評価の定まった図書は網羅的に収集し、欠本や汚破損本の更新に努める。

ア 0歳児から中高生までの成長の糧となるような資料を幅広く収集する。

イ 子どもの知的・情緒的な経験を広げることのできる資料を収集する。

ウ 翻訳作品については、完訳されたものを選ぶようにする。

エ 作品のテーマ、構成が読者を引きつけ、俗悪に流れず、文学性豊かな資料を収集する。

オ 紙芝居・絵本は、絵と物語が適切なものを選ぶ。

(3) ヤングアダルト図書

小学校高学年の児童から中学校、高校の生徒までの世代を対象とし、児童書から一般書への橋渡しができる資料を中心に幅広く収集する。

ア 利用対象者の興味・関心や理解力を考慮し、感性や知性を豊かにする資料を収集する。

イ 資料の主題や表現方法等が利用対象者に適しているものを選ぶ。

(4) 参考図書

ア レファレンスサービスのための資料の整理、充実に努める。また、多様な調査、研究に耐え得るよう、広範な領域から、問題解決のために必要な資料を収集する。

イ 年鑑、便覧等定期的に刊行されるもの、その他の参考図書については、内容が新鮮さを保つよう、常に刊行情報に留意し、買い替えを進める。

ウ 参考図書は、記述が客観的で、信頼性が高く、根拠の表示が正確

になされているものを選ぶ。

(5) 地域資料

ア 白岡市に関する資料は、あらゆる分野にわたって網羅的に収集する。

イ 埼玉県及び近隣市町に関する資料は、基本的なもの、白岡市に係りの深いものを心に収集する。

ウ 白岡市出身者、在住者の著作物、またこれらについて記述がある資料を収集する。

エ 児童・生徒の利用が可能なように、内容表現に幅をもたせた資料構成にすること。

(6) 行政資料

ア 白岡市が発行する資料を網羅的に収集する。

イ 官公庁の発行する資料で、白岡市及び埼玉県に関係のある資料を収集する。

(7) 逐次刊行物

ア 新聞は、主要新聞紙を中心に、地方紙も収集する。

イ 雑誌は、市販されているものから広く収集する。購入にあたっては、利用者の要求、年齢層、利用度等を考慮して特定分野に偏らないようにする。

ただし、専門性の高い雑誌や漫画雑誌は収集しない。

ウ 逐次刊行物は、利用度に応じて、収集内容を適時見直しする。

(8) 視聴覚資料

視聴覚資料の収集にあたっては、利用者の要求を考慮し、評価の高いものを選択する。視聴覚資料においても図書と同様、収集内容に偏りがないよう幅広く収集する。

ア DVDは、映画、ドキュメンタリー、アニメ、伝統芸能等のほか、語学、スポーツ、料理等、利用者の趣味・教養の向上に役立つ資料も積極的に収集する。

イ CDは、クラシック、ポピュラー、童謡、民族音楽のほか、落語、語学、文学作品の朗読等、利用者の趣味・教養の向上に役立つ

資料も積極的に収集する。

ウ DVDの選定に当たっては、その視覚的な特性に考慮し、内容や表現、描写等に配慮する。

エ ポピュラー音楽CDは、代表的な演者の作品のベスト盤を中心に収集する。

オ CD、DVDの選定に当たっては、各種作品賞を受賞した作品を考慮する。

(9) 漫画

主に児童を対象とした学習漫画や漫画表現を用いた大人を対象とした実用書やコミックエッセイ等のほか、一般的なコミックも収集の対象とする。

ア 漫画の選定に当たっては、その視覚的な特性に考慮し、内容や表現、描写等に配慮する。

イ 漫画の選定に当たっては、各種作品賞を受賞した作品を考慮する。

(10) 外国語資料

ア 市内在住の外国人利用者が日本の文化や習慣を理解し、日本語の習得に資する資料のほか、生活や娯楽に役立つ資料を収集する。

イ 市民の外国語の習得に資する資料や多文化理解に役立つ資料を収集する。

5 収集方法

資料の選定は、職員全員がかかわり、定期的に行うものとする。

ア 図書館活動において、利用者の読書傾向を把握する。

イ 常に新聞、雑誌、テレビ等の書評、広告、出版情報に注意する。特に、評価の高い図書は、収集漏れがないよう気を配ること。

ウ 新刊図書だけでなく、過去の収集漏れや、再販、復刻版等の出版情報を通じ、各分野で評価の高い資料の収集に努める。